

## 受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、ABケイマン・トラスト(以下「トラスト」といいます。)のサブ・ファンドであるエマージング・ボンド・ファンド(外貨建)(以下「ファンド」といいます。)の円建-円ヘッジクラスは、2022年1月31日をもちまして償還の運びとなりました。

ファンドの目的は、ABケイマン・マスター・トラスト-エマージング・マーケット・ボンド・ポートフォリオ(以下「投資対象ファンド」といいます。)に対する投資を通じて米ドル建の新興国の国債、政府保証債、政府機関債および社債等の債券を実質的な主要投資対象とし、値上がり益とインカムゲインからなるトータル・リターンを最大化を追求することです。第10期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに運用状況と償還の内容をご報告申し上げます。

長年にわたるご愛顧に対し、厚く御礼申し上げます。

### その他記載事項

運用報告書(全体版)は代行協会のウェブサイト(<https://www.alliancebernstein.co.jp>)の投資信託情報ページにて電磁的方法により提供しております。

ファンドの運用報告書(全体版)は受益者の皆様からのご請求により書面で交付されます。書面での交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

管理会社

アライアンス・バーンスタイン・エル・ピー

ABケイマン・トラスト

# エマージング・ボンド・ファンド (外貨建)

円建-円ヘッジクラス

ケイマン籍オープンエンド契約型公募外国投資信託/追加型

## 交付運用報告書(償還報告書)

作成対象期間 第10期  
(2021年10月1日~2022年1月31日(償還日))

第10期末	
1口当たり純資産価格	7,237円
純資産総額	329,457,762円
第10期	
騰落率	-5.28%
1口当たり分配金額	100円

(注1)騰落率は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算しています。端数調整方法の違いにより、月次報告書に記載の騰落率とは異なる場合があります。以下同じです。

(注2)1口当たり分配金額は、税引前の1口当たり分配金額を記載しています。以下同じです。

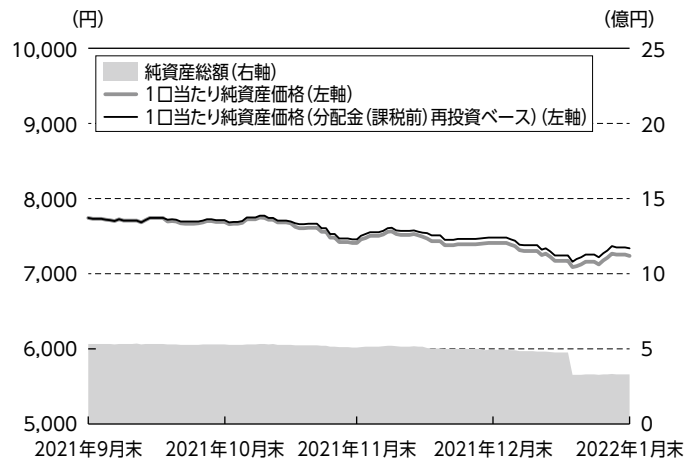
代行協会

アライアンス・バーンスタイン株式会社

## 《運用経過》

### 当期の1口当たり純資産価格等の推移について

〈円建-円ヘッジクラス〉



第9期末の1口当たり純資産価格:	7,743円
第10期末の1口当たり純資産価格:	7,237円
	(分配金額: 100円)
騰落率:	-5.28%

#### ■1口当たり純資産価格の主な変動要因

プラス要因

- ・保有債券の利子収入

マイナス要因

- ・為替ヘッジ・コスト
- ・保有するドル建てのエマージング国債および社債の価格下落

(注1) 1口当たり純資産価格(分配金(課税前)再投資ベース)は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。以下同じです。

(注2) 1口当たり純資産価格(分配金(課税前)再投資ベース)は、第9期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。

(注3) ファンドの購入価額により課税条件は異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注4) ファンドにベンチマークは設定されていません。

## 費用の明細

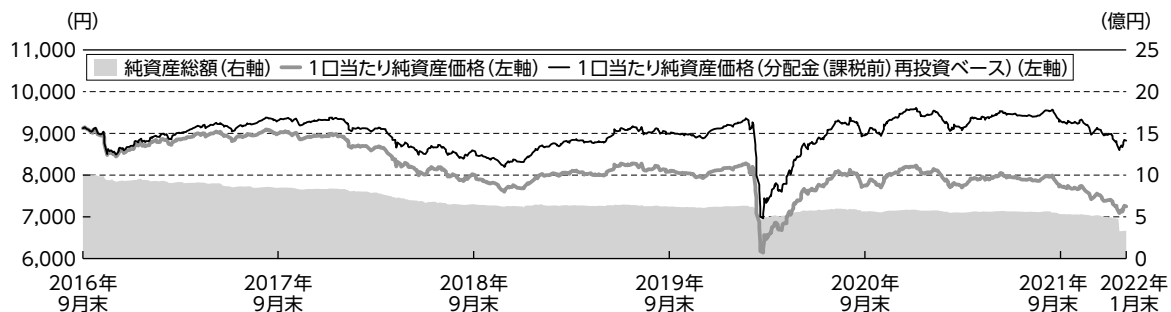
項目	項目の概要	
管理会社報酬	<管理会社として提供するサービス> 純資産総額の年率0.01% <投資運用会社として提供するサービス> 純資産総額の年率0.19%	ファンド資産の管理運用業務、受益証券の発行業務、ファンドの投資運用業務
受託会社報酬	年間10,000米ドル	ファンドの受託業務
販売会社報酬	純資産総額の年率0.30%	ファンドの受益証券の販売・買戻しの取扱業務
販売管理代行報酬	純資産総額の年率0.95%	販売関連費用の支払い等の販売関連サービス
代行協会員報酬	純資産総額の年率0.05%	受益証券1口当たり純資産価格の公表等ファンドの代行協会員業務
その他の費用(当期)	0.70%	専門家報酬(弁護士費用および会計士費用)、管理事務代行会社報酬等

(注1)各報酬については、有価証券報告書に定められている料率および金額を記しています。「その他の費用(当期)」には、運用状況等により変動するものや実費となるものが含まれます。便宜上、当期のその他の費用の金額をファンドの当期末の純資産総額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

(注2)各項目の費用は、投資対象ファンドの費用を含みません。

## 最近5年間の1口当たり純資産価格等の推移について

〈円建-円ヘッジクラス〉



	第4期末 (2016年9月末日)	第5期末 (2017年9月末日)	第6期末 (2018年9月末日)	第7期末 (2019年9月末日)	第8期末 (2020年9月末日)	第9期末 (2021年9月末日)	第10期末 (2022年1月31日)
1口当たり純資産価格 (円)	9,120	9,004	8,017	8,080	7,751	7,743	7,237
1口当たり分配金額 (円)	-	300	300	300	300	300	100
騰落率 (%)	-	2.13	-7.76	4.64	-0.26	3.73	-5.28
純資産総額 (円)	1,009,161,366	847,912,650	652,117,653	620,820,316	563,877,633	532,761,075	329,457,762

(注1) 1口当たり純資産価格(分配金(課税前)再投資ベース)は、第4期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。

(注2) ファンドにベンチマークおよび参考指数は設定されていません。

## 投資環境について

2021年10月1日～2022年1月31日までの4ヵ月間におけるエマージング債券市場は、下落しました。

2021年11月上旬にかけて上昇したものの、欧州の新型コロナウイルス感染拡大に伴うロックダウンへの警戒感や、新たな変異株のオミクロン株が確認されたことなどが嫌気され11月末にかけて下落しました。その後オミクロン株への過度な懸念が後退し戻しましたが、2022年に入ると米国国債金利の上昇を受けて下落しました。

## ポートフォリオについて

ファンドは主として米ドル建てのエマージング債券を実質的な投資対象とし、値上がり益とインカムゲインからなるトータル・リターンを最大化を追求します。運用にあたっては、当期も引き続き、計量分析とファンダメンタル分析に基づき、魅力的であると判断した銘柄への投資を行いました。

なお、円建-円ヘッジクラスでは、米ドルと円間の為替レートの変動による影響を低減するために、米ドル売り・円買いの為替ヘッジ取引を行いました。

なお、組入銘柄は、2022年1月31日時点で全て売却が完了しております。

ファンドは、2022年1月31日をもちまして、信託期間が満了し償還いたしました。これまでのご愛顧に厚く御礼申し上げます。

## 分配金について

当期(2021年10月1日～2022年1月31日)の1口当たり分配金(課税前)はそれぞれ下表のとおりです。なお、下表の「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」は、当該分配落日における1口当たり分配金額と比較する目的で、便宜上算出しているものです。

(円建-円ヘッジクラス)

(金額:円)

分配落日	1口当たり純資産価格	1口当たり分配金額 <sup>(注1)</sup> (対1口当たり純資産価格比率 <sup>(注2)</sup> )	分配金を含む1口当たり 純資産価格の変動額 <sup>(注3)</sup>
2021年10月18日	7,692	25 (0.324%)	-231
2021年11月16日	7,621	25 (0.327%)	-46
2021年12月16日	7,466	25 (0.334%)	-130
2022年1月19日	7,099	25 (0.351%)	-342

(注1)「1口当たり分配金額」には分配落日における1口当たりの分配金額を記載しています。

(注2)「対1口当たり純資産価格比率」とは、以下の計算式により算出される値であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

対1口当たり純資産価格比率(%)=100×a/b

a=当該分配落日における1口当たり分配金額

b=当該分配落日における1口当たり純資産価格+当該分配落日における1口当たり分配金額

以下同じです。

(注3)「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」とは、以下の計算式により算出されます。

分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額=b-c

b=当該分配落日における1口当たり純資産価格+当該分配落日における1口当たり分配金額

c=当該分配落日の直前の分配落日における1口当たり純資産価格

以下同じです。

(注4)2021年10月18日の直前の分配落日(2021年9月16日)における1口当たり純資産価格は、7,948円でした。

## 《今後の運用方針》

ファンドは、2022年1月31日をもちまして、信託期間が満了し償還いたしました。  
これまでのご愛顧に厚く御礼申し上げます。

## 《お知らせ》

該当事項はありません。

## 《ファンドの概要》

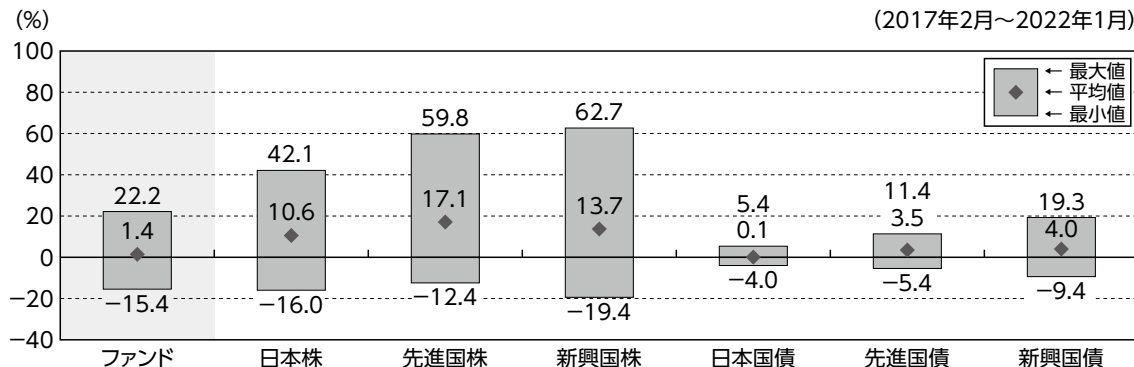
ファンド形態	ケイマン籍オープンエンド契約型公募外国投資信託／追加型	
信託期間	<p>ファンドは、2022年1月31日に終了する予定です。</p> <p>ただし、管理会社が、受託会社と協議の上、受益者の利益のためと判断した場合には、事前にファンドを終了させることがあります。</p> <p>(注) ファンドは、2022年1月31日に償還しました。</p>	
運用方針	<p>ファンドの目的は、ABケイマン・マスター・トラスト・エマージング・マーケット・ボンド・ポートフォリオ(以下「投資対象ファンド」といいます。)に対する投資を通じて米ドル建の新興国の国債、政府保証債、政府機関債および社債等の債券を実質的な主要投資対象とし、値上がり益とインカムゲインからなるトータル・リターンを最大化を追求することです。</p>	
主要投資対象	ファンド	ABケイマン・マスター・トラスト・エマージング・マーケット・ボンド・ポートフォリオ
	投資対象ファンド	<p>主に米ドル建のエマージング債券を主要投資対象とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆通常、資産総額の80%以上をエマージング債券に投資する見込みです。</li> <li>◆米ドル以外の通貨建債券への投資割合は、原則として純資産総額の20%以内とします。ただし、米ドル以外の通貨建債券に投資する場合は対米ドルで為替ヘッジをする予定です。</li> <li>◆社債への投資割合は、純資産総額の35%以内とします。また、投資対象ファンドは、株式等のエクイティ証券に対する投資を行いません。 ※ただし、投資対象ファンドは、転換社債の行使等により、純資産総額の25%までエクイティ証券を保有することができます。</li> <li>◆投資対象ファンドの資産は、投資適格の有価証券だけではなく、非投資適格の有価証券に対しても投資が行われます。非投資適格の有価証券に対しては、純資産総額の50%を超えて投資される場合があります。</li> <li>◆新興国における単一国への投資割合は、純資産総額の30%以内とします。</li> </ul>
ファンドの運用方法	<p>ファンドは、米ドル建のエマージング債券を実質的な主要投資対象とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ファンドは、資産の大部分を投資対象ファンドに投資します。投資対象ファンドは、米ドル建のエマージング債券を主要な投資対象とします。</li> <li>◆管理会社は、ファンドの資産総額の80%以上をエマージング債券に投資する見込みです。</li> </ul>	
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆投資対象ファンドの総資産の50%以上を金融商品取引法第2条第1項に定義される「有価証券」に投資します。ただし、投資対象ファンドの運用開始直後、大量の買戻請求が予想される場合または管理会社がコントロールすることができないその他の状況が予想される場合を除きます。</li> <li>◆単一発行体が発行する債券への投資割合は、純資産総額の10%以下とします。ただし、ソブリン債または準ソブリン債に投資する場合を除きます。</li> <li>◆借入残高総額は、純資産総額の10%を超えないものとします。ただし、合併等の特別事態により一時的に当該10%の制限を超える場合はこの限りではありません。</li> </ul>	
分配方針	<p>原則、毎月15日(15日がファンド営業日ではない場合には、その翌ファンド営業日)を分配基準日として、分配を宣言します。</p> <p>分配は、販売取扱会社を通じて投資者に対して、分配基準日(同日を含みます。)から起算して原則として7国内営業日目を以降に支払われます。</p>	



## 《参考情報》

### ■ファンドと他の代表的な資産クラスとの年間騰落率の比較

(円建-円ヘッジクラス)



- 上記グラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。
- 全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。
- 上記グラフは、2017年2月から2022年1月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を表示したものです。
- ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したとみなして計算した騰落率であり、実際の1口当たり純資産価格に基づき計算した騰落率とは異なる場合があります。

#### <各資産クラスの指数>

日本株・・・東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株・・・MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債・・・NOMURA-BPI国債

先進国債・・・FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債・・・JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は、円貨に為替換算しております。

#### 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社が算出し公表する、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。

#### MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

#### FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

#### JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイド (円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイド (円ベース)は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

## 《ファンドデータ》

### ファンドの組入資産の内容

(第10期末現在)

2022年1月31日現在、有価証券等の組入れはありません。

### 純資産等

〈円建-円ヘッジクラス〉

第10期末		
純資産総額	発行済口数	1口当たり純資産価格
329,457,762円	45,522口	7,237円

第10期		
販売口数	買戻口数	発行済口数
0口 (0口)	23,280口 (23,280口)	45,522口 (45,522口)

(注) ( ) の数は本邦内における販売・買戻しおよび発行済口数です。